外来の初診の算定回数は 2023 年度に月ごとに 1.284 倍の幅で動き（4 月がいちばん少なく 12 月がいちばん多い）、再診の約 2 倍の幅だが、その月の平日の数で割ると幅はかえって広がる——初診の割合は月では 0.1514〜0.1883（1.243 倍）しか動かないのに、年齢では 10〜14 歳の 0.4436 から 85〜89 歳の 0.0594 まで 7.47 倍動く [M093]

初診の割合の開き ＝ 月の開きと年齢の開き ── 分けるのは、月で動くか、年齢で動くか

山岸 勇輝（Yuuki YAMAGISHI）／ Independent Researcher

ORCID 0009-0006-8587-3450

2026 年 9 月 ／ CC BY 4.0

要旨

厚生労働省の第10回 NDB オープンデータ（2023 年度）の初再診料の診療月別算定回数と性年齢別算定回数（外来）で、外来の初診と再診が月でどれだけ動き、年齢でどれだけ動くかを見た。新しい数学定理も新しい法則も主張しない。

第一に、表はそろっている。使う 3 つの診療行為（初診料・再診料・外来診療料）はどれも、12 か月の和と、男女 19 の年齢階級の和が総計と一致し、二つの表の総計も一致する。ただし診療月別の表に年齢は無く、性年齢別の表に月は無いので、「年齢ごとの季節の形」はこの二つの表からは作れない（第3節）。

第二に、**初診は 4 月の 17,634,912 回から 12 月の 22,636,689 回まで 1.284 倍の幅で動き、変動係数は 0.0598 で、再診（0.0314）の 1.908 倍である。再診がいちばん少ないのは 1 月である**（第4節）。

第三に、**月ごとの違いは、その月の診療日の数では説明できない。内閣府の祝日の表で平日の数を数えて割ると、変動係数は初診で 0.0598 から 0.0730 へ、再診で 0.0314 から 0.0445 へかえって上がり、暦日で割っても 0.002 以内しか動かない**（第5節）。

第四に、ここが本稿の芯である。**初診の割合（初診÷（初診＋再診））は、月では 4 月の 0.1514 から 1 月の 0.1883 まで 1.243 倍しか動かないのに、年齢では 10〜14 歳の 0.4436 から 85〜89 歳の 0.0594 まで 7.47 倍動く**（第6節）。

第五に、**初診のうち 0〜14 歳は 0.2186、再診のうち 0〜14 歳は 0.0626 で、65 歳以上は初診の 0.2037、再診の 0.5504 である。** 初診と再診は、ほぼ別の年齢の人たちの数である（第6節）。

第六に、分けるのは**月で動くか、年齢で動くか**である。「季節で外来が動く」は、月の数で見ると初診が再診の約 2 倍の幅で動いていることだが、初診が外来に占める割合で見ると、月の開き（1.243 倍）より年齢の開き（7.47 倍）がずっと大きい。

射程注記：本稿は新しい数学定理も新しい法則も主張しない——初再診料の算定回数は公開の表にあり、本稿は月と年齢で並べ、診療日の数で割っただけである。**本稿は公開の集計データの数の形を述べる構造的解釈であり、医学的な助言・診断・治療の推奨ではない。著者は医師ではない。個人の健康に関する判断は医師・医療機関に相談すること。査読を経ていないプレプリントである。 感染症の流行の評価はしない。月ごとの違いの理由（病気の季節・休み・制度など）も言わない。受診の多い少ない、医療機関の良し悪しには立ち入らない。** 数は算定回数で人数ではなく、一年度（2023 年 4 月〜2024 年 3 月）だけの数である。診療月別の表に年齢は無く、性年齢別の表に月は無いので、年齢ごとの季節の形は見ていない。平日の数は内閣府の祝日の表から数え、年末年始やお盆などの、祝日でない休みは入れていない。都道府県・医療機関は比べない。**データについて**：第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）と国民の祝日（内閣府）は、どちらも公共データ利用規約（第1.0版）に従って使い、本稿の割合・比は、これを加工して作成した。本稿が加えたこと：**初診と再診の月ごとの幅を並べ、その幅が診療日の数では説明できないことを示したこと、初診の割合の開きを月と年齢で比べ、年齢の開き（7.47 倍）が月の開き（1.243 倍）よりずっと大きいことを示したこと。**

---

1. 記号と問い

- **初診・再診**：初診料（111000110）と、再診料（一般病床 200 床以上の病院を除く・112007410）＋ 外来診療料（112011310）の外来の算定回数。
- **初診の割合**：初診 ÷（初診 ＋ 再診）。
- **平日**：祝日を除く月〜金の日数。**変動係数**：12 か月の値の標準偏差 ÷ 平均。

問い：外来の初診と再診は、季節（月）でどれだけ動くのか。その動きは、その月の診療日の数で説明できるのか。月の動きと年齢の違いは、どちらが大きいのか。

観察 1.1：M080 は、内服薬の投薬延日数を一日当たりにすると、多くの薬効分類で 12 月が山になり、総数の月の形で割ると大きく残るのはアレルギー用薬と呼吸器官用薬だけであることを示した。M086 は、患者調査で外来の初診の割合が 0 歳から年齢とともに下がることを示した。本稿は、NDB の算定回数で、初診と再診の月の動きと年齢の違いを並べる。

---

2. 下見と設計

正直に書く：設計は表を見てから決めた。

	内容
表	第10回NDBオープンデータ 初再診料 診療月別算定回数・性年齢別算定回数（外来・2023年度）、国民の祝日（内閣府）
下見で気づいたこと	在庫では「年齢でどう違う季節の形か」を問うつもりだったが、診療月別の表に年齢は無く、性年齢別の表に月は無かった。年齢ごとの季節の形は作れないので、月の開きと年齢の開きを並べて比べる形にした
下見で気づいたこと（2）	月の数の違いは平日の数で説明できると見込んだが、平日の数で割ると月ごとの幅はかえって広がった。見込みを捨て、測った向きをそのまま書いた
比べ方	月ごとの初診・再診とその幅、診療日の数で割った幅、初診の割合の月の開きと年齢の開き

---

3. データと確かめ

計算 3.1 取得したファイル 7 本を SHA-256 で固定し、次を確かめた。

- 二つの表は、診療年月 2023 年 4 月〜2024 年 3 月・初再診料・外来。診療月別は 12 か月の列、性年齢別は男女それぞれ 19 の年齢階級（0〜4 歳〜90 歳以上）の列。
- 初診料・再診料・外来診療料はどれも、12 か月の和 ＝ 総計、男女 19 の年齢階級の和 ＝ 総計で、二つの表の総計が一致する。2023 年度の算定回数は初診料 253,194,954・再診料 1,049,234,472・外来診療料 155,419,905。
- 内閣府の祝日の表には、2023 年 4 月〜2024 年 3 月の祝日と休日が 17 日ある。

---

4. 月ごとの初診と再診

計算 4.1 月ごとの算定回数（外来）

月	初診	再診（再診料 ＋ 外来診療料）	初診の割合	平日	暦日
4 月	17,634,912	98,809,841	0.1514	20	30
6 月	21,148,226	103,271,693	0.1700	22	30
8 月	20,107,106	98,049,631	0.1702	22	31
12 月	22,636,689	104,665,505	0.1778	21	31
1 月	21,953,816	94,648,619	0.1883	21	31
2 月	22,090,711	95,405,133	0.1880	19	29
3 月	21,886,457	103,617,930	0.1744	20	31

観察 4.2：初診は 4 月がいちばん少なく（**17,634,912**）、12 月がいちばん多い（**22,636,689**・**1.284** 倍）。再診は 12 月がいちばん多く、1 月がいちばん少ない（**1.106** 倍）。変動係数は初診 **0.0598**・再診 **0.0314** で、初診の月ごとの幅は再診の **1.908** 倍である。

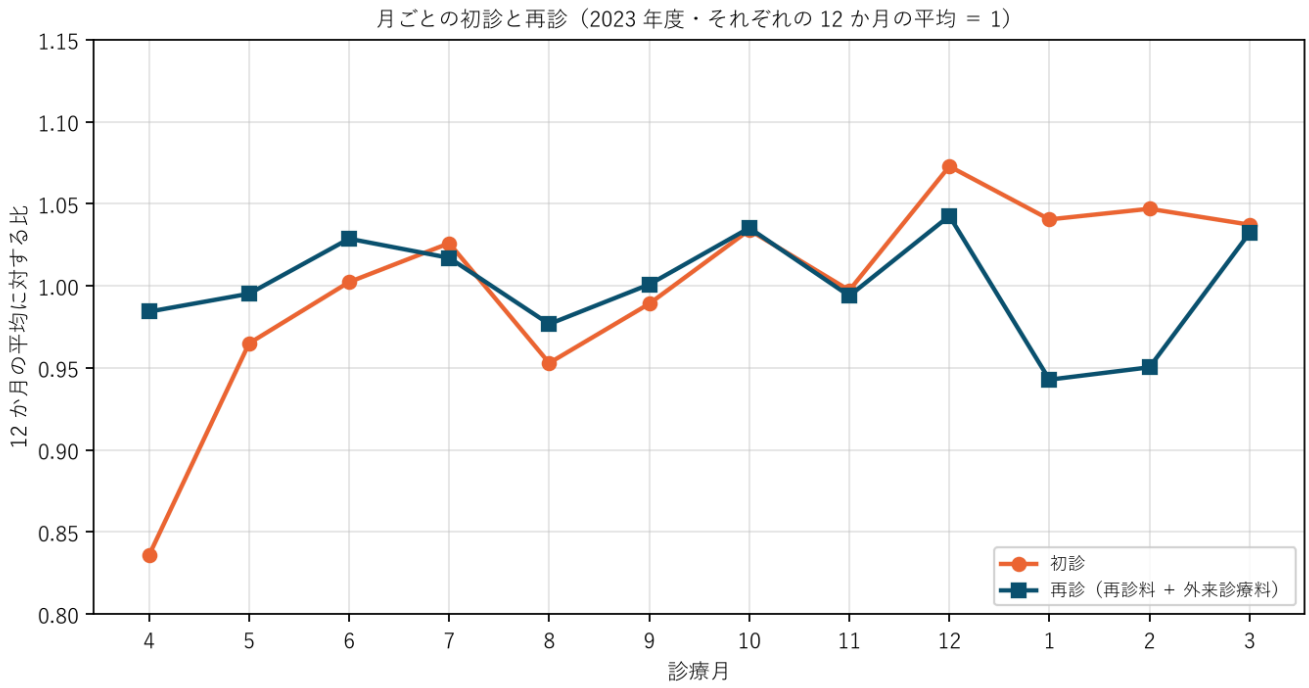


図1：月ごとの初診（橙）と再診（紺）。それぞれ 12 か月の平均を 1 とした比。

---

5. 診療日の数で割ると

計算 5.1 変動係数（12 か月）

	そのまま	暦日あたり	平日あたり	平日と土曜あたり
初診	0.0598	0.0608	0.0730	0.0645
再診	0.0314	0.0302	0.0445	0.0342

観察 5.2：**初診も再診も、平日の数で割ると変動係数はかえって上がる（初診 0.0598 → 0.0730・再診 0.0314 → 0.0445）。暦日で割っても 0.002 以内しか動かない。** 平日の多い月に算定回数が多い、という形にはなっていない。平日の数には、年末年始やお盆などの、祝日でない休みは入れていない。

---

6. 芯——月で動くか、年齢で動くか

計算 6.1 年齢階級ごとの初診の割合（外来・2023 年度・男女計）

年齢	初診	再診	初診の割合
0〜4 歳	13,425,132	21,839,455	0.3807
10〜14 歳	19,715,061	24,732,167	0.4436
20〜24 歳	13,246,715	17,834,801	0.4262
40〜44 歳	15,628,337	41,690,203	0.2727
60〜64 歳	11,898,449	87,694,722	0.1195
75〜79 歳	11,233,471	155,736,093	0.0673
85〜89 歳	5,164,029	81,824,507	0.0594
90 歳以上	2,816,908	40,189,839	0.0655

観察 6.2：**初診の割合は、月では 4 月の 0.1514 から 1 月の 0.1883 まで 1.243 倍しか動かないのに、年齢では 10〜14 歳の 0.4436 から 85〜89 歳の 0.0594 まで 7.47 倍動く。** 初診のうち 0〜14 歳は 0.2186、65 歳以上は 0.2037。再診のうち 0〜14 歳は 0.0626、65 歳以上は 0.5504 である。初診と再診は、ほぼ別の年齢の人たちの数で、月の動きの幅は、その違いに比べて小さい。

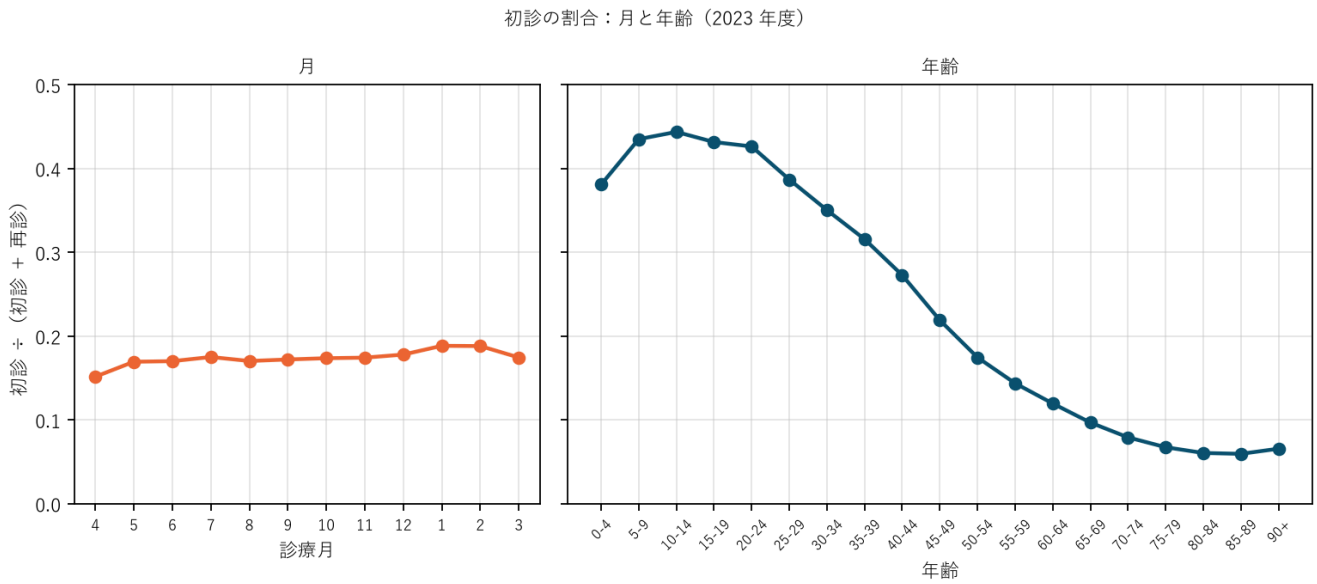


図2：初診の割合：月（左）と年齢（右）（2023 年度）。縦の目盛りは左右で同じ。

7. 限界

1. **診療月別の表に年齢は無く、性年齢別の表に月は無い。** 年齢ごとの季節の形は見ていない。月の初診の割合の動きが、どの年齢で起きているかは分けられない。
2. 数は算定回数で、人数ではない。一年度（2023 年 4 月〜2024 年 3 月）だけの数である。
3. 平日の数は祝日だけを除いたもので、年末年始やお盆などの休み、医療機関ごとの休診日は入っていない。
4. 月ごとの違いの理由は言わない。感染症の流行の評価はしない。
5. 受診の多い少ない、医療機関の良し悪しには立ち入らない。

結び

外来の初診は、2023 年度に 4 月から 12 月へ 1.284 倍の幅で動き、再診の約 2 倍の幅だった。その幅は、その月の平日の数で割るとかえって広がった。初診の割合は、月では 1.243 倍しか動かないのに、年齢では 10〜14 歳の 0.4436 から 85〜89 歳の 0.0594 まで 7.47 倍動いた。

分けているものは一つ——月で動くか、年齢で動くか。

「季節で外来が混む」と聞いたら、**月の数の動きの話か、どの年齢の人がどれだけ初めて来るかの話かを、一緒に確かめる。**

データと再現

データ	第10回NDBオープンデータ 初再診料 診療月別算定回数・性年齢別算定回数（厚生労働省）、国民の祝日（内閣府）（2026 年 9 月 26 日に利用）
利用条件	どちらも公共データ利用規約（第1.0版）に従う。本稿の割合・比は、これを加工して作成したもので、国が作成した数ではない
範囲	日本・2023 年度（診療年月 2023 年 4 月～2024 年 3 月）・外来の初診料・再診料・外来診療料の算定回数
検算	`検算/M093.py`（`--zu` で図も書く）。本文の数字はすべて `検算/M093_output.txt` から取った
生データ	`data/` に取得したファイルと `SOURCES.md`（URL・取得日・SHA-256・利用条件・定義と計算の置き方）
図	`図/M093_zu1`・`図/M093_zu2`（png・svg・英語版）

参考文献

- 厚生労働省. 第10回NDBオープンデータ A 基本診療料 初再診料 診療月別算定回数・性年齢別算定回数（2026年9月26日に利用）. https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221_00016.html
- 内閣府. 国民の祝日について（昭和30年（1955年）から令和9年（2027年）国民の祝日 csv）（2026年9月26日に利用）. https://www8.cao.go.jp/chosei/shukujitsu/gaiyou.html
- 山岸勇輝 (2026). 内服薬の投薬延日数を一日当たりにすると、14 の薬効大分類のうち 11 は総数と同じく 12 月が山になる——総数の月の形で割ると、大きく残るのはアレルギー用薬（3 月が 8 月の 1.944 倍・15 年度のうち 14 で 3 月が山）と呼吸器官用薬（1.408 倍）だけで、ほかの 12 は 1.035～1.111 倍にとどまる [M080]. Zenodo. https://doi.org/10.5281/zenodo.22978912
- 山岸勇輝 (2026). 入院の受療率は 40～84 歳で 11.24～12.10 年ごとに倍になり、1999→2023 年に倍になる速さはほとんど動かず 60 歳の高さが 0.479 倍に下がった——外来は高さがほとんど動

かず（0.868 倍）、倍になる年数が 16.38 年から 20.68 年に伸びて傾きが寝た [M086]. Zenodo（未公開）.